Also available daily on the internet!!
http://qt.swim.org/user_dir/japanlife/user_print_web.php

Devotional Guide

ディーヴォガイド

Nagoya Glorious Chapel

2026.3.16-22

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

Family Worship

礼拝メッセージフィードバック

＜今日の聖書箇所は…＞

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

Cell Group Guide

セル　ガイド

①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をあがめます。
②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合いましょう。
③ディボーションの分かち合いをします。
④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。 いつもの家族でいいのです。

①この１週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
②この１週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）１つだけ。
③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
④互いの必要のために祈りましょう。

L T G Guide

ＬＴＧ ガイド

①お互いへの感謝と誉めることを分かち合いましょう。（1～３つ）

②１週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。

③礼拝メッセージの分かち合いをします。
　礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い（なるべく短く）

④預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

Nagoya Glorious Chapel

16日　月曜

マタイ

23:13 わざわいだ、偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちは人々の前で天の御国を閉ざしている。おまえたち自身も入らず、入ろうとしている人々も入らせない。
23:14 ☆
23:15 わざわいだ、偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちは一人の改宗者を得るのに海と陸を巡り歩く。そして改宗者ができると、その人を自分より倍も悪いゲヘナの子にするのだ。
23:16 わざわいだ、目の見えない案内人たち。おまえたちは言っている。『だれでも神殿にかけて誓うのであれば、何の義務もない。しかし、神殿の黄金にかけて誓うのであれば、果たす義務がある。』
23:17 愚かで目の見えない者たち。黄金と、その黄金を聖なるものにする神殿と、どちらが重要なのか。
23:18 また、おまえたちは言っている。『だれでも祭壇にかけて誓うのであれば、何の義務もない。しかし、祭壇の上のささげ物にかけて誓うのであれば、果たす義務がある。』
23:19 目の見えない者たち。ささげ物と、そのささげ物を聖なるものにする祭壇と、どちらが重要なのか。
23:20 祭壇にかけて誓う者は、祭壇とその上にあるすべてのものにかけて誓っているのだ。
23:21 また、神殿にかけて誓う者は、神殿とそこに住まわれる方にかけて誓っているのだ。
23:22 天にかけて誓う者は、神の御座とそこに座しておられる方にかけて誓っているのだ。
23:23 わざわいだ、偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちはミント、イノンド、クミンの十分の一を納めているが、律法の中ではるかに重要なもの、正義とあわれみと誠実をおろそかにしている。十分の一もおろそかにしてはいけないが、これこそしなければならないことだ。
23:24 目の見えない案内人たち。ブヨはこして除くのに、らくだは飲み込んでいる。

Bible Reference 聖書の記述

パリサイ人の権威や教えが、イエス様の宣教に大きな妨げとなったことでしょう。彼らの価値観は彼ら自身を守るためであり、この世の権威を支持するためのだったからです。神の国の価値観は全く違っていました。

私たちもこの世の権威を尊重することがあるでしょう。尊敬する人、先生と呼んでいる人、また特別な経験や能力や知識を持って、教えてくれる人などは、すばらしいもので得るものがたくさんあるでしょう。しかし神様と同列にすることはできません。

それでも人間は、神よりも人に教えを請うことが多く、そして神様と違う教えも受け入れてしまうことがあるのです。イエス様がパリサイ人に気をつけるように、具体的に警告しておられますが、同じように人から何か影響を受けてしまって、神様の真理から離れていないかどうか考えてみましょう。または神様に聞いて頼ることを忘れていないか、第一にしないままではないか、考えてみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

17日　火曜

マタイ

23:25 わざわいだ、偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちは杯や皿の外側はきよめるが、内側は強欲と放縦で満ちている。
23:26 目の見えないパリサイ人。まず、杯の内側をきよめよ。そうすれば外側もきよくなる。
23:27 わざわいだ、偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちは白く塗った墓のようなものだ。外側は美しく見えても、内側は死人の骨やあらゆる汚れでいっぱいだ。
23:28 同じように、おまえたちも外側は人に正しく見えても、内側は偽善と不法でいっぱいだ。
23:29 わざわいだ、偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちは預言者たちの墓を建て、義人たちの記念碑を飾って、
23:30 こう言う。『もし私たちが先祖の時代に生きていたら、彼らの仲間になって預言者たちの血を流すということはなかっただろう。』
23:31 こうして、自分たちが預言者を殺した者たちの子らであることを、自らに対して証言している。
23:32 おまえたちは自分の先祖の罪の升を満たすがよい。
23:33 蛇よ、まむしの子孫よ。おまえたちは、ゲヘナの刑罰をどうして逃れることができるだろうか。
23:34 だから、見よ、わたしは預言者、知者、律法学者を遣わすが、おまえたちはそのうちのある者を殺し、十字架につけ、またある者を会堂でむち打ち、町から町へと迫害して回る。

Bible Reference 聖書の記述

23:35 それは、義人アベルの血から、神殿と祭壇の間でおまえたちが殺した、バラキヤの子ザカリヤの血まで、地上で流される正しい人の血が、すべておまえたちに降りかかるようになるためだ。
23:36 まことに、おまえたちに言う。これらの報いはすべて、この時代の上に降りかかる。
23:37 エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者よ。わたしは何度、めんどりがひなを翼の下に集めるように、おまえの子らを集めようとしたことか。それなのに、おまえたちはそれを望まなかった。
23:38 見よ。おまえたちの家は、荒れ果てたまま見捨てられる。
23:39 わたしはおまえたちに言う。今から後、『祝福あれ、主の御名によって来られる方に』とおまえたちが言う時が来るまで、決しておまえたちがわたしを見ることはない。」

律法学者は民衆が守るべき律法を定め、パリサイ人はそれを守るようにと教えていました。しかしどれも自分たちの権威と特権を守るためで、本当の神の御心からは離れていたものだったのです。イエス様は彼らを面と向かって非難し、神様の御心を明かにしました。

正典である聖書66巻は、自分の立場を守ったり、良く見せたりするためにあるのではありません。むしろみことばの前に、まだまだ不完全な自分を明かにしつつ、謙遜でありましょう。またそのような分かち合いをしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

18日　水曜

マタイ

24:1 イエスが宮を出て行かれると、弟子たちが近寄って来て、イエスに向かって宮の建物を指し示した。
24:2 すると、イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたはこれらの物すべてを見ているのですか。まことに、あなたがたに言います。ここで、どの石も崩されずに、ほかの石の上に残ることは決してありません。」
24:3 イエスがオリーブ山で座っておられると、弟子たちがひそかにみもとに来て言った。「お話しください。いつ、そのようなことが起こるのですか。あなたが来られ、世が終わる時のしるしは、どのようなものですか。」
24:4 そこでイエスは彼らに答えられた。「人に惑わされないように気をつけなさい。
24:5 わたしの名を名乗る者が大勢現れ、『私こそキリストだ』と言って、多くの人を惑わします。
24:6 また、戦争や戦争のうわさを聞くことになりますが、気をつけて、うろたえないようにしなさい。そういうことは必ず起こりますが、まだ終わりではありません。
24:7 民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、あちこちで飢饉と地震が起こります。
24:8 しかし、これらはすべて産みの苦しみの始まりなのです。
24:9 そのとき、人々はあなたがたを苦しみにあわせ、殺します。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。
24:10 そのとき多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合います。
24:11 また、偽預言者が大勢現れて、多くの人を惑わします。
24:12 不法がはびこるので、多くの人の愛が冷えます。
24:13 しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます。
24:14 御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終わりが来ます。

Bible Reference 聖書の記述

弟子たちは見える栄光や壮大さに心を奪われますが、何であっても神様の守りがなければ滅んでしまいます。この後にローマの侵攻によって、宮の石がすべてくずされたのは歴史的な事実です。そのように私たちの世界は、驚くような意外さによって、いとも簡単に崩されてしまうのです。

しかし、神様の真理と救いは決して損なわれることはありません。ですから、偽キリストには注意しなければならないのです。神の国を崩すためにサタンは偽キリストを用いるからです。また迫害やつまずきやにせ預言者が現れて、神の国を邪魔します。

私たちクリスチャンに必要なのは忍耐です。忍耐を全うするために力になるのは、真理の知識と終りの希望です。正しい信仰基準によって知識を確かなものとしましょう。教会生活をしっかりとして、メッセージを聞き続けることです。また終りの時にも希望を持ちましょう。やがてお会いするイエス様を、今の生活の中で愛することです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

19日　木曜

マタイ

24:15 それゆえ、預言者ダニエルによって語られたあの『荒らす忌まわしいもの』が聖なる所に立っているのを見たら――読者はよく理解せよ――
24:16 ユダヤにいる人たちは山へ逃げなさい。
24:17 屋上にいる人は、家にある物を取り出そうとして下に降りてはいけません。
24:18 畑にいる人は上着を取りに戻ってはいけません。
24:19 それらの日、身重の女たちと乳飲み子を持つ女たちは哀れです。
24:20 あなたがたの逃げるのが冬や安息日にならないように祈りなさい。
24:21 そのときには、世の始まりから今に至るまでなかったような、また今後も決してないような、大きな苦難があるからです。
24:22 もしその日数が少なくされないなら、一人も救われないでしょう。しかし、選ばれた者たちのために、その日数は少なくされます。
24:23 そのとき、だれかが『見よ、ここにキリストがいる』とか『そこにいる』とか言っても、信じてはいけません。
24:24 偽キリストたち、偽預言者たちが現れて、できれば選ばれた者たちをさえ惑わそうと、大きなしるしや不思議を行います。
24:25 いいですか。わたしはあなたがたに前もって話しました。
24:26 ですから、たとえだれかが『見よ、キリストは荒野にいる』と言っても、出て行ってはいけません。『見よ、奥の部屋にいる』と言っても、信じてはいけません。
24:27 人の子の到来は、稲妻が東から出て西にひらめくのと同じようにして実現するのです。
24:28 死体のあるところには、禿鷹が集まります。

Bible Reference 聖書の記述

はげたかは死骸を食べるので、汚れた動物とされていました。罪あり汚れた私たち人間が、十字架のイエス様という死のもとに来るのは、まさにはげたかが死体に集まるようです。しかしそこに命があり、汚れた者が赦されてきよいものとされる希望があります。またそこに終末の混乱の中にも確かな答えがあるのです。

イエス様は実際にユダヤでその後に起こった悲惨な苦難を預言しておられるますが、それはまさにこの世の終わりの悲惨さの型でもあります。

多くの惑わしがありますが、私たちクリスチャンには明確な答えがあるのです。それが「人の子」であるイエス様であり、死体と表現されているイエス様の十字架です。

このイエス様、十字架の救いから離れないという決心を今のうちからしておきましょう。その決心にふさわしい生き方をしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

20日　金曜

マタイ

24:29 そうした苦難の日々の後、ただちに
太陽は暗くなり、月は光を放たなくなり、星
は天から落ち、天のもろもろの力は揺り動か
されます。
24:30 そのとき、人の子のしるしが天に現れ
ます。そのとき、地のすべての部族は胸をた
たいて悲しみ、人の子が天の雲のうちに、偉
大な力と栄光とともに来るのを見るのです。
24:31 人の子は大きなラッパの響きとともに
御使いたちを遣わします。すると御使いたち
は、天の果てから果てまで四方から、人の子
が選んだ者たちを集めます。
24:32 いちじくの木から教訓を学びなさい。
枝が柔らかになって葉が出て来ると、夏が近
いことが分かります。
24:33 同じように、これらのことをすべて見
たら、あなたがたは人の子が戸口まで近づい
ていることを知りなさい。
24:34 まことに、あなたがたに言います。こ
れらのことがすべて起こるまでは、この時代
が過ぎ去ることは決してありません。
24:35 天地は消え去ります。しかし、わたし
のことばは決して消え去ることがありません。

世の終わりの出来事が、単に社会の変革というものではなく、宇宙的な規模であることが分ります。つまり全存在が刷新されるということです。どんな人間の英知も神様のご計画と権威のもとには、全く無力であることを知る必要があります。
「この天地は滅び去ります。しかし、わたしのことばは決して滅びることがありません。」という信仰、神理解が大切です。日頃からそのように神様の権威を喜びつつ生活している人は、何があっても動じることはないのです。むしろその混乱の中にあって、神様は何をしてくださるのだろうと、そのご計画を楽しみにすることさえできるのです。

Bible Reference 聖書の記述

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

21日　土曜

マタイ

24:36 ただし、その日、その時がいつなのかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。
24:37 人の子の到来はノアの日と同じように実現するのです。
24:38 洪水前の日々にはノアが箱舟に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったり嫁いだりしていました。
24:39 洪水が来て、すべての人をさらってしまうまで、彼らには分かりませんでした。人の子の到来もそのように実現するのです。
24:40 そのとき、男が二人畑にいると一人は取られ、一人は残されます。
24:41 女が二人臼をひいていると一人は取られ、一人は残されます。
24:42 ですから、目を覚ましていなさい。あなたがたの主が来られるのがいつの日なのか、あなたがたは知らないのですから。
24:43 次のことは知っておきなさい。泥棒が夜の何時に来るかを知っていたら、家の主人は目を覚ましているでしょうし、自分の家に穴を開けられることはないでしょう。
24:44 ですから、あなたがたも用心していなさい。人の子は思いがけない時に来るのです。
24:45 ですから、主人によってその家のしもべたちの上に任命され、食事時に彼らに食事を与える、忠実で賢いしもべとはいったいだれでしょう。
24:46 主人が帰って来たときに、そのようにしているのを見てもらえるしもべは幸いです。
24:47 まことに、あなたがたに言います。主人はその人に自分の全財産を任せるようになります。
24:48 しかし彼が悪いしもべで、『主人の帰りは遅くなる』と心の中で思い、
24:49 仲間のしもべたちをたたき始め、酒飲みたちと食べたり飲んだりしているなら、
24:50 そのしもべの主人は、予期していない日、思いがけない時に帰って来て、
24:51 彼を厳しく罰し、偽善者たちと同じ報いを与えます。しもべはそこで泣いて歯ぎしりするのです。

私たちは今の世界が、つまり見えるものがいつまでも続くかのように錯覚しがちですが、そのようなことはありません。確実に終わってしまうのです。イエス様はそのことを実感させようと、非常にリアルな描写で終りの時の様子を語られます。
それはいつか分らないからです。そしていつイエス様が来られても良いように、備えなければならないからです。私たちの人生のすべては、神様からまかされてたもので、私たちは忠実なしもべであることが必要です。
主に忠実でありましょう。忠実でありつつ、イエス様を愛して待ち望みますよう。

Bible Reference 聖書の記述

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

22日　日曜

マタイ

25:1 そこで、天の御国は、それぞれともしびを持って花婿を迎えに出る、十人の娘にたとえることができます。
25:2 そのうちの五人は愚かで、五人は賢かった。
25:3 愚かな娘たちは、ともしびは持っていたが、油を持って来ていなかった。
25:4 賢い娘たちは自分のともしびと一緒に、入れ物に油を入れて持っていた。
25:5 花婿が来るのが遅くなったので、娘たちはみな眠くなり寝入ってしまった。
25:6 ところが夜中になって、『さあ、花婿だ。迎えに出なさい』と叫ぶ声がした。
25:7 そこで娘たちはみな起きて、自分のともしびを整えた。
25:8 愚かな娘たちは賢い娘たちに言った。『私たちのともしびが消えそうなので、あなたがたの油を分けてください。』
25:9 しかし、賢い娘たちは答えた。『いいえ、分けてあげるにはとても足りません。それより、店に行って自分の分を買ってください。』
25:10 そこで娘たちが買いに行くと、その間に花婿が来た。用意ができていた娘たちは彼と一緒に婚礼の祝宴に入り、戸が閉じられた。
25:11 その後で残りの娘たちも来て、『ご主人様、ご主人様、開けてください』と言った。
25:12 しかし、主人は答えた。『まことに、あなたがたに言います。私はあなたがたを知りません。』
25:13 ですから、目を覚ましていなさい。その日、その時をあなたがたは知らないのですから。

Bible Reference 聖書の記述

かつて再臨のイエス様をお待ちする、いわゆる再臨信仰を強調するクリスチャンは、再臨はすぐにあるという表現をすることが多かったのですが、それは「見よ。わたしはすぐに来る。」という黙示録のことばから来ていると思われます。しかしこの箇所のたとえでは、思ったよりも遅かったという場合が語られています。つまりイエス様の再臨はいつかは分らないということです。

それよりも大切なことは、備えをしっかりしてイエス様をお待ちするということです。油とは聖書では聖霊を表します。また聖霊による祈りも表していると思われます。そして聖霊によって生きる者の信仰の表れは、あらゆることに関係します。

主イエスをお待ちする備えをしましょう。イエス様は生きておられます。単に生活習慣や信仰のあり方ではなく、日頃からイエス様と愛の交わりをしつつ、お待ちすることです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？